

現場で生きる 打楽器術

演奏の極意と奥義

著:西久保 友広

バンドジャーナルの2018年5月号から6年間にわたって連載された『こちら西久保打楽器研究室』を、全面的に見直し再構成してまとめた1冊。

微に入り細に入り、丁寧・親切な説明がされているので、打楽器の初心者からベテラン奏者まで、役立つ内容となっている。とくに奏法については、写真や文章だけでは伝わりづらい箇所については、35個のQRコードを配し、著者本人の実際の演奏を動画でも確認できることが嬉しい。

全体は、「第1章・基礎編」、「第2章・各楽器編」の2部構成。前者は、スティック選びのコツ、基礎的な奏法を習得するための練習法を解説。

後者では、バスドラム、合わせシンバル、サスペンデッド・シンバル、スネアドラム、タンバリン、トライアングル、鍵盤打楽器の各楽器について深掘りする。

西久保氏ならではの情報も織り交ぜた、これまでの打楽器教本にはない興味深い内容となっている。

現場で 生きる 打楽器 術

演奏の
極意と奥義

西久保友広

音楽之友社



目次

定価 2,200円
(本体 2,000円+税10%)
ISBN 978-4-276-14561-0
A5判 156 頁

第1章基礎編

- ① スティックのあれこれを知る
- ② 基本奏法について
- ③ アクセントの音をどう演奏するか
- ④ 装飾音符について
- ⑤ ロールはバウンドが命 数
- ⑥ クレッシェンドとディミヌエンド
- ⑦ 基礎練習をカスタマイズする

第2章各楽器編

- ① バスドラム
- ② 合わせシンバル
- ③ サスペンデッド・シンバル
- ④ スネアドラム
- ⑤ タンバリン
- ⑥ トライアングル
- ⑦ 鍵盤打楽器

著者プロフィール

西久保 友広(ニシクボトモヒロ)

東京音楽大学を経て、東京音楽大学大学院修士課程修了。
2005年第10回KOBЕ 国際 学生音楽コンクールにて最優秀賞及び兵庫県教育委員会賞受賞。
第10回JILA音楽コンクール打楽器部門において第1位受賞。第22回日本管打楽器コンクールにおいて第2位受賞。第75回読売新人演奏会出演。第10回神戸新聞文化財団松方ホール音楽賞大賞受賞。大学在学中、東京音楽大学特待生及び(財)明治安田生命クオリティオブライフ文化財団奨学生に選ばれ、奨学金を授与される。2005年より2年間東京音楽大学においてティーチングアシスタントを務めた。現在、読売日本交響楽団打楽器奏者。「パーカッション・ミュージアム」「TheTUBABAND」のメンバー。「パーカッショングループ72」代表。玉川大学、昭和音楽大学、東京音楽大学で後進の指導にあたる。



のご注文も可能です



PC・スマホから
いつでもご発注
いただけます
ご利用ください。

(貴店名・帳合)

(注文)

音楽之友社 5月新刊書籍

現場で生きる 打楽器術 演奏の極意と奥義
西久保 友広 著

定価 2,200円(本体 2,000円+税10%)
ISBN 978-4-276-14561-0 A5判 156 頁

冊